

# 一般質問

この定例会では、議案や市政全般について、22人の議員が一般質問を行い、活発な議論を展開しました。

その概要は、次のとおりです。  
(一)内には、各党派等からの質問申し出時間を記載していません。

会派名など	質問者数	質問時間
水曜会	6人	340分
公明党	5人	210分
誠友会	3人	150分
市民連合	2人	150分
日本共産党	2人	150分
新政クラブ	1人	60分
無所属	3人	各30分

\*一般質問の録画放送をインターネットで見ることができます。(詳細は下段)



高田 健司  
水曜会 (60分)

## エフピュアRiMの再生に向けて

**問** エフピュアRiMの再生に向けた考えは。

**答** 短時間での再生をめざし、必要最小限の床だけを活用するなど、最大の効果を上げていきたい。立地の良さから子育て機能が複数設置され、多くの子どもや保護者に利用されており、子どもたち

の健やかな成長のためには子育て世代の方々が集える機能が駅前周辺に必要と考えている。また、未来の中心市街地のにぎわいを考えたとき、民間事業でありながら、公共的な要素を含む魅力的なコンテンツを生み出し、市民生活を豊かにする、新しい民間事業者のチャレンジの場を創り出すことが必要と考えている。

周辺のエリア価値を高める取り組みを切れ目なくスタートさせた後、5年から7年後を目途に、にぎわい再生の進捗を見極めながら次なる展開の検討に入りたい。



大田 祐介  
水曜会 (60分)

## 福山駅北口広場整備でのJR西日本との協定は

**問** 本市とJR西日本は、福山駅北口広場の整備等に関する協定書を締結したが、信頼できる事業パートナーとして協定を結んだ経緯とその内容は。

**答** 本市とJR西日本は、これまでも駅周辺の活性化に連携して

取り組んできた。今後の駅北口広場整備においても、さまざまな交通問題の解消や、駅南北の交流軸の形成等の課題解決に共に取り組んでいくこととなる。

このため7月に協定書を締結し福山駅を国内外から多くの人々が繰り返し訪れる一大周遊エリアの玄関口とすることが共通の使命であることを互いに確認し合った。そして、駅北口広場整備が未来に向けた共創の第一歩であるということを共有した。



神原 則男  
水曜会 (60分)

## 神辺本陣の国の文化財指定は

**問** 神辺本陣は、往時の建造物と本陣関係の資料が併せて現存する、全国でも珍しい歴史史跡である。国の重要文化財、史跡の指定に向けての進捗状況と今後の予定は。

**答** 国の文化財指定をめざし、平成29年度からの2力年で土地や

建物の専門的な調査を行った結果主要な本陣建物は江戸時代中期の建築当初の規模や形式を保っていることが分かった。本年度は歴史的な価値を明らかにするため、文献史料の調査を実施している。今後も文献史料の調査を継続し



旧山陽道に面する神辺本陣

来年度中に調査報告書を作成する予定であり、この報告書を基に文化庁と協議を重ねながら国の文化財指定に向けて取り組む。

\*12月定例会の一般質問の録画放送を見る場合

福山市のホームページ → 福山市議会 → 議会中継 → ここからご覧ください。